



商品化した「ゆうわごくんの籠城シート」と森本社長（舞鶴市喜多）

DIY建材の製造・（本社・舞鶴市喜多、
ネット販売を手掛ける
（株）DIY STYLE 森本隆社長）はこのほど
体育館など避難場所に敷く防災シートを
商品化した。自社開発した建築用の床材を改
善した商品で、耐水性や耐久性に優れ、また
軽量で搬入が容易なのが特徴。

舞鶴のD I Y S T Y L E

避難所用シート商品化

ブルーシートなどと比べて丈夫で軟らかく、床からくる冷気を和らげるのが特徴。幅1㍍、長さ50㍍の大きさで価格は9万円。厚さは5㍉に抑え、

ト」。より多くの人に
目を留めてもらえるよ
うに地元のゆるキャラ
を採用した。既に海上
自衛隊が訓練用に購入
している。年間50本の
販売を目指す。

巻くと6畳間に48本（2400人分）が収納できるという。1本の重さは17キロと女性でも持ち運びが可能で、場所に応じてカッターナイフで加工することもできる。

今月8、9の両日には仙台市で行われる「震災対策技術展」に出席し、PRする。10月には東京ビッグサイトで開催される「東京国際消防防災展2011」に参加して販路を開拓する。(同社は8)

良したもので自治体などへの拡販を狙う。

防災商品の開発は初めて。社内に専門事業部を立ち上げ、建材と並ぶ収益の柱にする。

舞鶴工業高等専門学校（舞鶴市白屋）と開発した防音・断熱効果のある床材を改良。市職員の意見なども採り入れ約1年かけて開発した。やや厚くしてより軟らかく、断熱効果を高めたシートに仕上げた。

シートはポリエチレン製で、従来の毛布や